

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

平成26年度 ニッケ入社式 訓辞

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。
ニッケグループを代表して心よりお祝い申し上げます。
今年もチャレンジ精神に溢れた皆さんと出会えたことを大変うれしく思います。
社会人としての第一歩である入社式の今の気持ちを忘れないで下さい。



さて、賛否両論あるものの、アベノミクスによる円安、株高効果の恩恵により自動車、電機産業、金融をはじめとした日本の大手企業の業績は回復基調にあります。また今日から実施される消費増税が経済に及ぼす悪影響が懸念されるものの、消費者の購買意欲も盛んであり、単価の高いものも売れていることから、デフレからの脱却も少しは期待出来るようになってきました。しかしながら一方で東日本大震災に端を発した原発問題での日本の方向性は依然として定まらず、将来にわたってのエネルギーコストの上昇は企業にとって大きな重荷となるでしょう。また進展が期待されたTPP交渉も暗礁に乗り上げた状態で今後グローバルでの競争を勝ち抜くためにも、政治の決断が急がれます。こうした環境下であればこそ、我々は我々自身の明確な理念と行動指針を持って活動しなければなりません。

ニッケグループは2016年(平成28年)に創立120周年を迎えます。2008年に120周年に向けての中長期ビジョンとして「NN120ビジョン」を策定し、「人と地球にやさしく、あったかい企業グループとして、情熱と誇りを持ってチャレンジしていく」という経営理念を掲げました。

具体的には4つの事業は等しく成長の可能性を持つものと認識し、全ての事業を「本業」と位置付けて成長発展を目指しています。また昨年12月より次の10年後に向けて「RN130ビジョン委員会」を立ち上げ、将来に向けての目指す方向性や経営戦略の再構築に着手しています。そしてこうした理念やビジョンを共有し、自らのミッションとして具現化していくのは「人財」、ほかならぬ今日入社された皆さんを含めた「人」であります。

そこでニッケグループの人に対する考え方、4つの「人財ビジョン」について、お話したいと思います。

一つ目は「チャレンジ精神を持ち続ける人財であること」です。
経営理念にもありますが、チャレンジすることは人と企業の成長にとって絶対に必要な要件です。世の中はパラダイムシフトが物凄いスピードで起きており、「売れるもの作り」や「独自サービス」により市場を創造するチャレンジを続けなければ、勝ち残ることは出来ません。新しい課題や職務に主体的に取り組み、目標を掲げ、内向きではなく外向き志向で挑戦しやり遂げる人を目指して下さい。会社は結果だけではなく、その立ち向かう姿勢やプロセスを評価することを約束します。

NEWS RELEASE

二つ目は「高い認識力を持つ人財であること」です。

自分の守備範囲を限定することなく、視野を広く持ち、柔軟な発想で物事に取り組んでください。会社の仕事はすべて自分を取り巻く周囲との関係性のなかで成り立ちます。全体の中で自分の果たすべき役割は何か、今行っている仕事の意味は何か、もっと良いやり方はないかといった点について、常に頭をめぐらせ続けてください。

三つ目は「倫理観に富む人財であること」です。

コンプライアンス・法令遵守という言葉はすでに頻繁に耳にされていると思います。社会には色々なルールがあり、そのルールを破ると会社の存亡にかかわりブラック企業の烙印を押されかねません。社会人としての自覚を持ち、責任ある行動をとってください。

四つ目は「真面目で誠実な人財であること」です。

これは伝統的に培われてきたニッケの風土で、これからも守り続けていくべき企業風土です。常に誠実な真心と思いやりで人と接してください。

以上、これから仕事を進めていくなかで迷った時や壁にぶち当たった時に、この求められる4つの人財ビジョンを反芻し、人財理念である「社員の使命は、仕事を通じて自ら学び自ら成長すること」にあることを確認してください。「会社は、成長しようと努力する社員に対して支援を惜しみません」

最後に、今日のようなグローバルな環境下においては、閉塞感を打破し、新しい何かを創造、開発するためには皆さんの新しい視点や若い力が必要です。「やってやろう」という強い意志は健康な身体からのみ生まれます。体調管理は怠らず、小さなことで結構ですから、目標を立てて仕事に取り組んでください。

皆さんの活躍を期待しています。

ニッケグループ代表
日本毛織株式会社
取締役社長 佐藤光由

以上

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 人財戦略室
室長 松本 佳也
TEL:06-6205-6620